



皆さんからの声が形に！



地域で頂いた皆さんからの要望の一例です。（詳細はホームページに掲載中）



溝沼、スーパーヤマユーさん横

歩道から子どもが飛び出して車と接触事故があり、安全対策してほしいと声がありました。

ヤマユーさんの協力もあり、既存のフェンスを



延長、追加設置しました。

夕方は、お買い物客で人が

いっぱいになります。車も歩行者も気を付けてくださいね。

安心安全な街へ

中央公園横自転車用道

水たまりの解消、舗装修繕と集水マスの設置をしました



← 第四小学校横

通学路の安全対策をしてほしいと声がありました見通しが悪いカーブに、ミラーと看板の設置をしました。



膝折町、ヨシクニ米穀店さん横 →

大通りへ出るときに接触事故が多いため、安全対策をしてほしいと声がありました。



まずは、注意の看板と停止のドット線を設置しました。これだけで改善する訳ではありませんが、今後取り組んでまいります。



第3回 定例会 一般質問 報告

9月議会報告です。皆さんの声を市政へ届けてまいりました。これからも、声をお聞かせください。本文の内容は要旨です、詳細は遠藤みつひろHPで、全文は朝霞市HPに掲載されます。

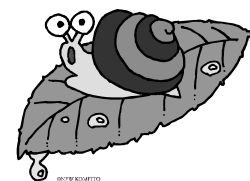
幸町地域の水道水を安心安全へ実現

幸町地域の水道水について

最近水道水が濁って困ると声をいただきました。

一番身近な飲料水です、安心安全な生活を送るには欠かせません。

原因の追究と今後の対策をお聞かせください。



答弁：幸町地域の水道水につきましては、圧力の関係や水流により管内に付着したマンガンや鉄錆等が剥がれ落ちるものと考えております。また同区域内にある大型マンションにおいて、各戸が同時に水道水を使用された時に、管内の水道水の流れが急激に速まり、管内付着物の剥がれ落ちを増長させているのではないかと推測しております。

対策として、水道管の管内洗浄を行うとともに、大型マンション付近の水道管を現状よりも太い管に布設替えし、年末から年明けに工事を実施し、水道管内の水流の安定化を図ってまいりたいと考えております。今後におきましても、定期的に管内洗浄を行い、安心・安全な水道水の供給に努めてまいります。



看護・介護者の環境改善を要望

在宅療養 看護、介護者への支援について

在宅療養とは、住み慣れた地域や住まいで訪問看護を受けながら、治療・療養していくことです。そのようななか、看護・介護にあたる家族の方々は24時間365日の介護で疲労困憊し、患者さん本人が自宅での在宅療養を望みながらも、継続していくことが困難になる場合も少なくありません。

介護者がリフレッシュするひとつの方法として、レスパイト入院があります。

レスパイトとは休息とか息抜きを意味します。

難しいとは思いますが、どのようにお考えでしょうか。

私は看護・介護にあたる方々が安心できる環境にしたいと強く思っています。

行政として、このような方々をどのように支援できるでしょうか



答弁：レスパイト入院においては、一番の問題は病院側の問題があります。今後県を含めた検討の場が作れるかどうか先進市町村について調査研究をして参ります。今後も介護者からの相談に、きめ細かく対応し、その方にあったサービスの提供や施設の利用などにより、介護者の負担を軽減できるよう努めてまいります。

市民相談はお気軽に

えんどう
遠藤みつひろ



朝霞市幸町2-2-27
TEL,FAX 048-461-6669
携帯 090-6545-3849



えんどうまめ通信



NEW KOMEITO

公明党

URL⇒ <http://www.komei.or.jp/km/asaka-endou-mame/>

障がい者の福祉施設の拡充を要望

障がい者支援 総合福祉施設について

精神障がいを持っていて、なおかつ足に障がいがあるため車いすの生活をしていると、昼間活動できる場がないかと探したが、なかなか本人に合うところがなく困っていると声をいただきました。

総合福祉センター「はあとぴあ」では障がいごとにフロアーを別にするとか運営できないのでしょうか。

私たちはどうしても障がいというと、ひとくくりにして考えがちですが、障がいによって特性が違わけて、また個人によっても違ってきます。

市としてこのような障がいの方の受け入れについて、どのようにお考えでしょうか。



答弁：総合福祉センター「はあとぴあ」は、バリアフリー化され、送迎もあることから、3障害の方々を受け入れる施設として運営を行っていますが、それぞれ、障害の特性がございますので、利用者のトラブル等がないよう十分に配慮した運営を行っています。ご指摘のフロアー別に障害種別を分けることは、施設の面積等の問題もございますので、難しい面があるかと思えます。本市の障害福祉施設につきましては、どのような形が良いのか、今後、施設の在り方について様々な観点から考えてまいります。



就労継続支援について

障がい者の就労については、賃金や時間など課題もありますが、今回は働く場所について質問させていただきます。障がいを持つ子どもの保護者にとって、学校に通っているときは安心だったことが、卒業したらどこへ行けばいいのかと不安になることだと思えます。就労継続支援の施設は重要な役割を担うと思います。先般、定員増が図られましたが、今後の市としてどのようにお考えでしょうか。

答弁：今後、特別支援学校卒業生も増えてくるものと認識しておりますので、市内施設をはじめ、県内施設も視野に入れるとともに、民間団体などとも連携を取り、施設開設なども働きかけながら障害のある方々の就労を促進してまいります。



はあとぴあは手狭になっていて、就労継続支援の施設においても定員がいっぱいになってしまう。今後のことを思うと、施設の在り方について具体的に検討する時期にあるのではと私は思うのですが。施設の在り方について、朝霞市の今後の方向性について、どのように考えているのでしょうか。

答弁：(市長より) 現在の障害施設により、障害のある方すべてを受け入れることは難しい状況です。今後利用者の動向を踏まえながら、民間施設の支援あるいは、市の公的な施設の増設も含め、ニーズに対応できるよう検討していきたい。

ホームページ、フェイスブック、ツイッター公開中！

生活保護からの自立めざす

生活保護受給者の自立支援策として、埼玉県は教育・就労・住宅支援の3本柱からなる「生活保護受給者チャレンジ支援事業」を展開していて、大きな成果を挙げていると聞いています。これは県議会公明党も推進してきた取り組みですが、朝霞市として埼玉県のこの事業とどう連携しているのかお聞きします。

教育支援について：高校への進学率をお聞かせください。

答弁：教育支援員事業を活用して実施しております。高校への進学率は、95%で生活保護受給世帯と一般世帯の格差解消に関しては、効果があるものと考えております。



就労支援について：40歳～50歳代のまだ働ける世代の増加が問題となっています。

長期失業状態であるため、規則正しい生活習慣がつかれなく、就労してもなかなか続かなく辞めてしまったとの話も聞きます。支援はどのようになっているのかお聞かせください。

答弁：職業訓練支援員事業やハローワークの「福祉から就労事業」とも連携し、就労支援の充実を図っております。

住宅支援について：住宅扶助を現金ではなく現物給付とすること

についてはいかがでしょうか。

受給者のなかには無料低額宿泊所に長期間入所されている方もおります。

生活の自立を促す支援の状況をお聞かせください。

転居が困難な高齢者や障がい者など、きめ細かな相談・支援をお願いします。

答弁：家賃は金銭給付が基本となりますが、ご本人から依頼があった場合等には、委任状を徴取したうえで家主等への直接送金にも対応しております。

また、無料低額宿泊所の入所者に対する住宅支援につきましては、住宅ソーシャルワーカー事業を活用しております。今後も積極的に居宅設定に向けての住宅支援を継続してまいります。



公明党 次期衆院選・比例 北関東ブロック 予定候補者



興水

岡本

矢倉

おかもと みつなり
岡本 三成 (47歳)

興水 けいち
こしみず 恵一 (50歳)

国と地方の
議員ネットワーク No.1

2013
参院選

埼玉選挙区(定数3) **矢倉 かつお** 氏37歳を公認